

所 属	大垣市こども未来部保育課
担 当	課長：川崎 主幹：高木
連絡先	0584-47-7096（直通）

## 保育関係職員による課題研究会の設置について

### 1 趣旨

令和3年度、保育・幼児教育を取り巻く環境が大きく変化する中、本市公立園における保育・幼児教育のあり方を検討するため、学識経験者で構成する「大垣市の公立保育園・幼稚園等のあり方懇談会」を設置し、懇談会から様々な提言を受けた。

また、保育現場に係る見直しについては、トップダウンではなく、保育を実践する保育者たちからのボトムアップにより進むことが重要であるという意見もいただいた。

こうしたことを受け、今年度、保育関係職員による研究会を設置し、懇談会からの提言を踏まえつつ、保育現場の課題等について検討を行うもの。

研究会は、保育現場の経験が豊富であり園内をまとめる立場にある主任保育者を対象にメンバーを公募し、選定した。なお、研究会には保育課の職員も参加し、園の事務を行う職員と、保育を担う保育士とが、保育・幼児教育について共通理解をもって取り組む体制とする。

### 2 事業概要

#### (1) 名称

「大垣市保育・幼児教育課題研究会」

#### (2) 検討項目

##### ① 保育の質向上のための仕組みづくり

保育所保育指針や幼稚園教育要領と整合が取れる指導案を作成するための検討や、より良い園運営に反映するための園評価の仕組みの検討

##### ② 特別な配慮を要する子どもへの保育について

特別な配慮が必要な子どもが増加している中、保育の実施方法や体制、専門職員の確保の必要性など、保育現場の対応について検討

##### ③ 研修体系の見直し

保育の質向上のための研修について、あらためて必要性や効果について考え、より良い研修体系を検討

#### ④ 目指すべき保育・幼児教育

保育にあたる保育士等が自らの経験や研究をもとに考える大垣市の保育・幼児教育のあるべき姿について検討

#### ⑤ その他

### (3) 研究会の進め方

検討項目について、部会を設置し、意見交換・調査研究を行う。

適宜、令和3年度に設置した「大垣市公立保育園・幼稚園等のあり方懇談会」委員をアドバイザーとして招聘し検討を進める。

必要に応じて先進的な保育を推進する保育園等の視察を行う。

[スケジュール (予定) ]

時 期	内 容
令和4年 4月	メンバー募集、研究会設置
5月～11月	全体会議、部会ごとに研究会開催 (5回程度想定)
9月	中間まとめ・概要報告
12月	最終まとめ・報告

### (4) 研究会構成員

公募により応募のあった主任保育者9人、保育課の担当職員6人で構成し、3部会に分かれて調査研究を進める。

### (5) 第1回目 全体会議

① 日時：令和4年5月11日 (水) 17:00～発足会 (市長出席)

※ 研究会メンバーは、16時に集合し事前オリエンテーション

② 場所：8階 大会議室

③ 内容

- 市長への研究会発足報告
- オリエンテーション
  - ・研究テーマについて
  - ・担当部会について
  - ・今後の進め方について

### 3 参考

#### 「大垣市の公立保育園・幼稚園等のあり方懇談会」の提言骨子

- (1) 保育・幼児教育集団の適正規模について
  - 適正規模に対する考え方。
  - 保育・幼児教育面からみた適正な集団規模及びクラス編成の目安。
- (2) 障がい児保育のあり方について
  - 園で行う障がい児保育の考え方。
  - 配慮が必要な園児に対応するため、クラスや園全体で包み込むような保育のあり方及び体制整備。
- (3) 保育・幼児教育制度の整理等について
  - 利用者が減っている幼稚園の統廃合と保幼小連携などの対応。
  - 先駆的に進めてきた幼保園のあり方。
- (4) 目指すべき大垣市らしい保育・幼児教育等について
  - 探究的な学びを保育の中で表現する質の高い保育。
  - 遊びを中心とした保育の中で、子どもと保育者がともに育てる保育。
  - 真の子育て支援のため、保護者と向き合い、保護者育成にも寄与する園の実現。